

○「農振地域編入の動きあり」

(京都府宮津市 府中地区連絡会議)(平成30年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

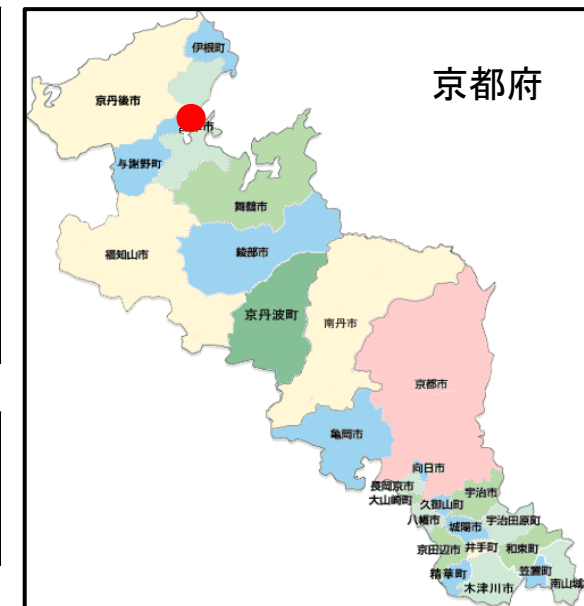
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年6月26日(火) 19:00～21:00
- 場 所: 宮津市府中集会所
- 出席者: 宮崎委員、古橋委員、和田推進委員
大銅局長 ※委員3人、委員以外1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

写真・図面
(地区連の写真又は
必要に応じた活動の写真や図面)

2 地区の特徴、状況、課題

- 府中地区; 農振地域の無い集落あり。府中農産物直売組合(7人)が直売所・小中学校に食材納入
- 国分・溝尻地区; 京カプラン策定済み。農地中間管理事業を取組中。海水流入で嵩上げが必要な農地あり
- 東部地区; 農業専従者はいない。漁家が家庭菜園として栽培。農振外地域で成り行きまかせの状況



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 府中地区では、宮津市が特産化を目指しているオリーブ栽培の取組について、先行きが見えない
また、給食センターに食材を納入している組合の意見では、3カ月前の納入約束は無理との考え。
価格の決定が不明である点も課題
- 国分・溝尻地区では、遊休農地が1件復活し作付け
- 東部地区(大垣・難波野・天橋・江尻・中野)では、アンケート立案も実施できず。農地を維持したいが、水路・農道が
未整備なため困難。現在の農地をどう維持するのか。市が勧めるオリーブ栽培の地域での取組は不明
- 農振地域編入・農用地区域拡大の要望の動きがあるが、どのように取り組んでいくか早急な検討が必要

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 2 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |